

第95回長野市都市計画審議会 意見一覧表

○日時 令和8年2月6日(金) 14時から

○内容 都市計画マスタープランの全体構想(序・第1編)について、第6回専門部会(R7.12.17開催 当日の意見は未反映)時点の検討案を、都市計画審議会へ報告し、ご意見やご指摘をいただきました。

項目			都市計画審議会での発言等		対応方針
			ご意見・ご指摘	事務局等の回答	
第1編	第1章	22ページ	<p>公共交通の人口カバー率について、基幹的な公共交通(駅から800m圏内、運行本数が片道30本/日以上)のサービス水準のバス停から300m圏内)で算出している。公共交通のサービス水準に寄らない人口カバー率も把握すべきではないか。</p> <p>基幹的な公共交通の人口カバー率の約40%は、地方中核市では平均的な値だと思う。サービス水準に寄らない人口カバー率は、デマンドバスを運行していることもあり、80%以上あると思う。</p>	<p>公共交通のサービス水準に寄らない人口カバー率は、現行の「長野市地域公共交通計画」で算出しており、次期計画を検討する中でも最新値を把握すると聞いている。市内で情報共有を図りたい。</p> <p>公共交通は都市マスにおいて、コンパクト・プラス・ネットワークの”ネットワーク”を担う部分であり、ある程度のサービス水準があってこそ、住民の生活利便性を向上させることができるため、都市マスでは基幹的な公共交通の人口カバー率を算出している。</p>	➡左記回答のとおりです。
	第3章	30ページ	<p>集約型都市構造のイメージ図について、模式的な表現のみでなく、長野市らしい人々の営みや生活を描けると、さらに良い図になると感じる。</p>	<p>昨年12月に開催した第6回改定専門部会でも同様のご指摘をいただいた。機械的な集約型都市構造の概念図でなく、長野市ならではのイメージ図となるよう、第7回改定専門部会に向けて事務局で検討中である。</p>	➡左記回答のとおりです。 【資料4 P30 都市構造のイメージ図】
その他	シティ・プロモーションに関すること		<p>移住者や観光客に向けた、長野市の魅力を発信する都市マスのプロモーション・ムービーを作成してはいかがか。予算の都合もあると思うが、検討いただきたい。</p>	<p>面白いアイデアだと思う。移住者や観光客向けとなると、都市マスのみで対応できないため、関係課とともに検討したいと思う。予算や期間の関係で、今回の改定では難しいかもしれない。</p>	➡左記回答のとおりです。

項目	都市計画審議会での発言等		対応方針
	ご意見・ご指摘	事務局等の回答	
移動に関すること	誰もがMaasなどにより、シームレスに移動できる社会を実現することが必要だと考える。長野市は、令和3年にスマートシティ構想を表明し、「スマートシティNAGANO基本計画」を策定している。	多様な移動手段を確保することで、移動しやすい社会を実現することの重要性は認識している。皆がシームレスに移動できる環境を確保するため、「スマートシティNAGANO基本計画」とも連携するとともに、技術革新やモビリティ革命を効果的に活用することを計画書に記載していきたい。	<p>➡「分野別の方針」の中の「交通体系の方針」に記載しました。</p> <p>【資料4 P47, 52 分野別の方針】</p> <p>➡今後、公共交通に関する内容(資料4 P54～57)にも記載するよう、関係課と調整します。</p>
スポーツ施設の活用に関すること	東外環状線の4車線化事業が進んでおり、今年の12月に五輪大橋が無料化されるが、橋の車線数は現在のままである。今後の大規模なスポーツ施設を活用について、どのように考えているか。	<p>東外環状線の拡幅、五輪大橋の無料化に加えて、若穂SICの整備、落合橋の架け替えも予定されており、今後、交通状況が大きく変化することが見込まれる。</p> <p>オリンピックを契機に整備された大規模なスポーツ施設や幹線道路などは、長野市の資産であると考えている。これらの既存ストックを積極的に活用するとともに、アクセス性を確保することが重要であると考えている。単なるスポーツ大会・試合やイベントの開催に留まらず、それを経済効果や賑わいの向上といった、波及効果につなげたいと考えている。このことは「分野別の方針」の「経済活動等に関する方針」(P74～77)に記載している。</p>	➡左記回答のとおりです。